

施策マネジメントシート

基本施策名	06 文化・芸術活動の推進と歴史・文化遺産の適切な保護	施策統括課	生涯学習課	氏名	伊形 研一郎
政策名	3 文化・生涯学習・スポーツ	主な関係課	公民館、国立駅周辺整備課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

市民

対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

	名称	単位
ア	人口	人
イ		
ウ		
エ		

施策の目的

文化・芸術活動のしやすい環境が整備され、市民が文化・芸術活動に親しむことができるとともに、市内の歴史・文化遺産が守られ、活用されるまちを目指す。

成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない

	名称(展開方向ごとに記載)	単位
1	ア 過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合	%
	イ くにたち市民芸術小ホールの利用者数	人
2	ア 過去1年間に文化・芸術活動を行った市民の割合	%
	イ 市または教育委員会の後援を受けて実施された文化・芸術イベントの数	件
3	ア 過去1年間で市内の歴史・文化遺産を訪れたことがある市民の割合	%
	イ 市内の歴史・文化遺産を地域の資源として活用されていると思う市民の割合	%
4	ア	
	イ	

2 第1次基本計画期間(平成28～令和5年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 文化・芸術を育む良質の土壌づくり	市民が文化・芸術を身近に感じることができる機会を充実させ、文化・芸術を育む「良質の土壌づくり」を推進する。	くにたち文化・スポーツ振興財団との共催によるアートピエンナーレなど、市民が身近に芸術に触れあう場やまちを活かした芸術活動の場を提供する。 学校・ギャラリー等を含む芸術活動に関連する市民団体等との連携を実施する。
2 文化・芸術活動の促進	市民・団体等の自主的な文化・芸術活動を促進する。	市民が文化・芸術に関心を持つことができるよう、積極的に情報発信する。 市民・団体が文化・芸術活動や発表、交流等を行いやすい場・機会を提供する。
3 歴史・文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承	市内の貴重な歴史・文化遺産、伝統民俗芸能を大切に守り、子どもたちの郷土についての理解を深め、郷土愛を醸成していくとともに、観光や地域振興につなげていく。	継承すべき文化財を指定・登録するとともに適切に保存する。 歴史・文化遺産の活用においては、子どもたちの学習活用等で次世代への継承を図るとともに、より多くの方の興味を喚起できるよう、方法を工夫する。 現在は解体され、部材を保管している旧国立駅舎について、ほぼ元の位置へ再築し、市民が文化財に親しめるようにする。 本田家の家屋・資料等を適切に保存し、東京都の指定文化財を目指していく。 くにたち郷土文化館や古民家を利用した行事で、獅子舞などの貴重な伝統民俗芸能を実演(披露)し、継承に向けた取組を進める。
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

		単位	数値区分	H27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	目標達成度			
対象指標	ア	人	見込み値 実績値	74,546	75,384	75,466	75,932							達成・ 未達成	前年度 比較	
	イ		見込み値 実績値													
	ウ		見込み値 実績値													
	エ		見込み値 実績値													
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値										未達成	向上	
				目標値		56.0	56.5	57.0	57.5	58.0	58.5	59.0				
				実績値	50.0	49.2	47.6	50.4								
	基本計画における 指標の説明又は出典元				国立市市民意識調査											
	イ	人	成り行き値												未達成	低下
			目標値		67,000	67,500	68,000	68,500	69,000	69,500	70,000					
			実績値	62,476	61,061	62,678	57,758									
	基本計画における 指標の説明又は出典元				くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書											
	ア	%	成り行き値												未達成	低下
			目標値		23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0				
			実績値	22.3	23.6	22.7	22.1									
	基本計画における 指標の説明又は出典元				国立市市民意識調査											
イ	件	成り行き値												未達成	向上	
		目標値		45	47	49	51	53	55	57	59					
		実績値	43	31	41	46										
基本計画における 指標の説明又は出典元				市または教育委員会の後援件数												
ア	%	成り行き値												未達成	低下	
		目標値		63.0	63.5	64.0	64.5	65.0	65.5	66.0						
		実績値	61.4	59.4	61.1	59.8										
基本計画における 指標の説明又は出典元				国立市市民意識調査												
イ	%	成り行き値												未達成	向上	
		目標値		34.0	34.5	35.0	35.5	36.0	36.5	37.0						
		実績値	37.4	31.4	25.8	28.2										
基本計画における 指標の説明又は出典元				国立市市民意識調査												
ア		成り行き値														
		目標値														
		実績値														
基本計画における 指標の説明又は出典元																
イ		成り行き値														
		目標値														
		実績値														
基本計画における 指標の説明又は出典元																
事務事業数		本数		10	11	10										
施策コスト	財源内訳	国庫支出金	千円		1,000	1,957	2,447									
		都道府県支出金	千円		26,210	55,042	51,802									
		地方債	千円				0									
		その他	千円		4,453	1,919	1,957									
		一般財源	千円		154,063	176,555	331,208									
		事業費計(A)	千円		185,726	235,473	387,414	0	0	0	0	0				
	延べ業務時間	時間		9,315	9,781	10,345										
人件費	千円		25,158	30,117	36,448											
トータルコスト(A)+(B)		千円		210,884	265,590	423,862	0	0	0	0	0	0				

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下)

D:成果がどちらかと言えば低下した

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)～E(かなり低い)

C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること

- ・芸術小ホールの利用人数については、外壁改修工事の影響が大きい。
- ・文化財への活用については、駅舎等の関連で関心が向上した。

5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

国立市は、「文教都市くにたち」としての市民意識が高く、市民の自主的な文化活動と市の文化・芸術事業が市民芸術小ホール、くにたち郷土文化館、公民館、図書館等で行われてきた。活発な文化・芸術活動や個性豊かな文化人、芸術家が多く、またギャラリーなどの民間文化施設も存在している。

また、文化芸術施策の推進に向け、基本理念を明確にし、市民にとって文化と芸術をいっそう身近なものとするともに、「文化と芸術が香るまちくにたち」を実現するため平成30年4月から「国立市文化芸術条例」が施行した。

文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に守り伝えられてきた貴重な財産であり、市民のかけがえのない文化遺産、歴史的財産として、次代の人々に引き継いでいかなければならない。このため、価値ある文化財の適切な保護や保存を進め、十分に活用することなどにより、文化財保護の意識をより多くの市民に広げていく必要がある。

一方、国では、平成29年に「文化芸術振興基本法」が改正され、文化芸術そのものの振興に加え、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等文化芸術に関連する分野の施策についても法律の範囲に取り込むとともに、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を、文化芸術の継承、発展及び創造につなげていくことの重要性が明らかにされた。

また、平成30年に「文化財保護法」も改正され、文化財の滅失や散逸等の防止を緊急の課題とし、文化財をまちづくりに活かしつつ、地域社会総がかりで、その継承に取り組んでいくことや地方文化財保護行政の推進力の強化について規定がなされた。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・くにたちアートビエンナーレについては、事業の柱となる「野外彫刻展」や「Play Me I'm Yours」などの新規事業を展開する中、新たな交流や地域の団体、市内の美術館等との協力関係も生まれ、文化が香るまちづくりに寄与しているとの意見がある。一方、大学通りには彫刻をこれ以上設置してほしくない、市民の意見を聞いて効果的に実施してほしい、との意見もある。

・本田家住宅及び薬医門の適切な保護についての要望が出されている。

・「Play Me I'm Yours」については、議会及び市民の方から概ね好評を得ており、今後の実施についての要望もある。

6 H30年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の取組状況

H30年度の取組状況	R1年度の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術小ホール・古民家の開館時間の延長や施設予約システムの運用、ホールとグランドピアノのシェアプログラム等、利用者の利便性を高める展開をした。 ・芸術小ホールでは、国立音楽大学、国立音楽大学附属高校学校との連携事業、地域団体との連携事業、あるいは幼稚園、保育園等に出向いての音楽会等、地域とのつながりを深める事業展開をした。 ・(仮称)国立市文化芸術推進基本計画についての検討を行い計画(案)を作成した。 ・国登録文化財である本田家住宅等については保存活用計画を策定した。また、主屋の応急修繕を開始した。 ・旧国立駅舎再築工事に着手した。再築後の旧国立駅舎の活用方針に基づき、空間デザイン、管理運営方法の検討を行った。 ・第63回くにたち市民文化祭の実施 ・古民家屋根葺き替え工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「くにたちアートビエンナーレ2020」事業への支援 ・(仮称)国立市文化芸術推進基本計画の策定に向けた取り組み ・本田家住宅や緑川東遺跡出土石棒のPRに向けた取り組み ・本田家住宅の応急修繕工事の実施及び資料等の適切な保管の実施に向けた取り組み ・旧国立駅舎再築工事を完了させる。また、再築後の旧国立駅舎の利活用に向けて、活用方針に基づき、空間デザイン、管理運営方法・体制などを決定し、開設準備を進めていく。 ・第64回くにたち市民文化祭の実施 ・本田家については策定した保存活用計画をもとに東京都と協議を行い、都の指定文化財を目指していく。 ・北秋田市との友好交流都市協定に基づき、マタギ文化の体験について国立市の児童と保護者に参加してもらう。

(2) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 必要に応じて展開方向ごとに記載

総合基本計画及び30年度行政経営方針に照らして評価する

・本田家住宅の保存活用計画の策定や古民家屋根葺き替え工事もあり、より一層の文化財の保存・活用に取り組むことができた。今後は、様々な文化財を多くの方に興味をもってもらえるよう、PRを工夫していく。

・「国立市文化芸術条例」に基づく、「国立市文化芸術推進基本計画」(案)の策定を行い、市議会総務文教委員会に報告を行った。今後は、計画決定とともに具体的な事業を検討していく。

・令和2年に再築される予定の国立市指定文化財である旧国立駅舎について、利活用を含め一定の考え方の整理を行った。

7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) R2年度の取組方針

・本田家住宅等の貴重な文化財について、解体復元工事を実施するとともに貴重な資料等の適切な保存を行っていく。

・旧国立駅舎の開設に伴い、旧国立駅舎の歴史的価値や国立大学町のまちづくりの歴史などを伝えていく。また、多くの市民に来館してもらえるよう、企画展等を開催していく。

・くにたち市民文化祭による文化・芸術を「発表する場」の創出。

(2) 中期的な取組方針

・文化芸術条例の中にある「文化芸術推進基本計画」に基づく事業を行う。

・旧国立駅舎再築後の活用等、まちの活性化に寄与する取り組みを行う。

・本田家住宅等の保存を行い、活用について検討を行う。